

令和8年度 関東高等学校水泳競技大会

第77回 関東高等学校選手権水泳競技大会
兼第94回 日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

実施要項

(競泳 ・ 飛込 ・ 水球)

期日	(競泳) 令和8年7月18日(土)～20日(月) 3日間
	(飛込) 令和8年7月18日(土)～19日(日) 2日間
	(水球) 令和8年7月18日(土)～20日(月) 3日間
会場	神奈川県横浜市 横浜国際プール (競泳)
	神奈川県横浜市 横浜国際プール (飛込)
	神奈川県平塚市 トクイセキリティ平塚総合体育館温水プール (水球)
主催	関東高等学校体育連盟・神奈川県教育委員会
主管	関東高等学校体育連盟水泳専門部 神奈川県高等学校体育連盟・一般社団法人神奈川県水泳連盟
後援	公益財団法人神奈川県スポーツ協会 公益財団法人日本水泳連盟

イ 競技日程

第1日 7月18日(土)	第2日 7月19日(日)	第3日 7月20日(月)
開会式 9時30分 競技開始 10時10分	競技開始 9時30分	競技開始 9時30分 閉会式 15時30分
No 性別 種目	No性別 種目	No 性別 種目
1. 女子200m平泳ぎ 予選	25. 女子200m自由形 予選	47. 女子100m自由形 予選
2. 男子200m平泳ぎ //	26. 男子200m自由形 //	48. 男子100m自由形 //
3. 女子 50m自由形 //	27. 女子800m自由形 タイム決勝	49. 女子200m背泳ぎ //
4. 男子 50m自由形 //	28. 女子100m背泳ぎ 予選	50. 男子200m背泳ぎ //
5. 女子200m個人メドレー //	29. 男子100m背泳ぎ //	51. 女子100m平泳ぎ //
6. 男子200m個人メドレー //	30. 女子100mバタフライ //	52. 男子100m平泳ぎ //
7. 女子400m自由形 //	31. 男子100mバタフライ //	53. 女子4×200mフリーリレー //
8. 男子400m自由形 //	32. 女子400m個人メドレー //	54. 男子4×200mフリーリレー //
9. 女子200mバタフライ //	33. 男子400m個人メドレー //	55. 女子100m自由形 決勝
10. 男子200mバタフライ //	34. 女子4×100mメドレーリレー //	56. 男子100m自由形 //
11. 女子4×100mフリーリレー //	35. 男子4×100mメドレーリレー //	57. 女子200m背泳ぎ //
12. 男子4×100mフリーリレー //	36. 男子1500m自由形 タイム決勝	58. 男子200m背泳ぎ //
13. 女子200m平泳ぎ 決勝	37. 女子200m自由形 決勝	59. 女子100m平泳ぎ //
14. 男子200m平泳ぎ //	38. 男子200m自由形 //	60. 男子100m平泳ぎ //
15. 女子 50m自由形 //	39. 女子100m背泳ぎ //	61. 女子4×200mフリーリレー //
16. 男子 50m自由形 //	40. 男子100m背泳ぎ //	62. 男子4×200mフリーリレー //
17. 女子200m個人メドレー //	41. 女子100mバタフライ //	
18. 男子200m個人メドレー //	42. 男子100mバタフライ //	
19. 女子400m自由形 //	43. 女子400m個人メドレー //	
20. 男子400m自由形 //	44. 男子400m個人メドレー //	
21. 女子200mバタフライ //	45. 女子4×100mメドレーリレー //	
22. 男子200mバタフライ //	46. 男子4×100mメドレーリレー //	
23. 女子4×100mフリーリレー //		
24. 男子4×100mフリーリレー //		

- ※1 リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後10分程度の休憩を入れる。
- ※2 予選・決勝ともに10レーンで行う。タイム決勝は10レーンで行う。
- ※3 予選競技はリレー種目・背泳ぎ種目を除き、オーバーザトップ方式で行う。

(2) 飛 込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

- ・ 3m飛板飛込 10演技種目
 - 制限選択飛 (難易度合計9.5以内) 各群より 5演技種目
 - 自由選択飛 各群より 5演技種目
- ・ 高飛込 9演技種目 (6つの群より選択)
 - 制限選択飛 (難易度合計7.6以内) 異群より 4演技種目
 - 自由選択飛 異群より 5演技種目

(イ) 女子の部

- ・ 3m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛 (難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 異群より4演技種目
- ・ 高飛込 8演技種目(5つ以上の群より選択)
制限選択飛 (難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 異群より4演技種目

イ 競技方法

- (ア) 予選・決勝方式で行う。
- (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
- (ウ) 決勝進出者は予選上位12位までの選手とする。
- (エ) 決勝は、各種目とも、それぞれの制限選択飛、自由選択飛の全種目で行う。
- (オ) 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。
※飛込は「ダイブシート」を予選、決勝各々1通、自分が行おうとする飛込演技番号・型・高さ・難易度を記入して、当該競技の前日(12時～15時)の間に、飛込プールサイドに設置してある箱に入れること。なお、「ダイブシート」は公益財団法人日本水泳連盟指定の用紙を公益財団法人日本水泳連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。

ウ 競技日程

第1日	令和8年7月18日(土)	競技開始	10時00分(予定)	女子飛板飛込	予選・決勝
				男子飛板飛込	予選・決勝
第2日	令和8年7月19日(日)	競技開始	10時00分(予定)	女子高飛込	予選・決勝
				男子高飛込	予選・決勝

(3) 水球

競技日程

第1日	令和8年7月18日(土)	競技開始	9時30分	1回戦4試合	2回戦4試合
第2日	令和8年7月19日(日)	競技開始	9時30分	2回戦4試合	3回戦4試合
第3日	令和8年7月20日(月)	競技開始	9時30分	準決勝2試合	3位決定戦 決勝

5 競技規則

2026年度公益財団法人日本水泳連盟競技規則による。

6 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。
(競泳男子・女子、飛込男子・女子、水球男子 5部門)

(1) 競泳

個人種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は1位16点、2位14点……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア リレー種目による得点の多い学校。
- イ 各種目の入賞者数の多い学校。(但し、リレー種目は4と計算する)
- ウ 1位の数。
- エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)

(2) 飛込

各種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア 入賞者数の多い学校。
- イ 1位の数。
- ウ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)
- エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校。(平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する)
- オ 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

- (3) 水球
 - ア 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う)
なお、前年度成績上位4チームをシードとし、組合せは公開抽選を行う。
 - イ 1回戦から準々決勝までは7分4ピリオドで実施する。準決勝および3位決定戦・決勝は8分4ピリオドで実施する。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2026年度公益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は平成19年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーでなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
 - ア 部員不足に伴う合同チーム
(全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に基づき、都県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
 - イ 統廃合対象校による合同チーム
(統廃合完了前の2年間に限る)
- (6) 転校(転籍)後1年未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 全国高等学校総合体育大会の予選を兼ねるものについては、(公財)全国高体連で定めたものによる。
- (9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例
 - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(10) 前記(1)～(9)の他、次の項によって参加資格を得た者。

ア 競泳は各都県主催団体の予選会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者またはチーム（但し、4位、5位、6位、7位、8位については別記関東大会の標準記録を突破した者に限る）とする。なお、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者は主催団体の推薦を経てその種目を申し込む。

注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

注2 都県予選会に参加した選手のみ関東大会に出場できる。

イ 関東大会出場資格特別措置

現在の参加資格に特別措置として次の項目を追加する。

(特別措置)

選手が国際大会などの代表に選ばれたため、予選会（都県大会）に出場できない場合は、予選会（都県大会）への出場を免除する。リレー種目についても、代表選手がチームの一員として出場した当年度（4月2日以降）長水路の公式記録を採用して、標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。このことに関する出場措置は、次のように行う。

①予選会（都県大会）不出場、関東大会出場の場合は、予選会（都県大会）8位まで（標準記録突破者）+ 派遣選手とする。

②予選会（都県大会）出場、関東大会不出場の場合は、下位選手の操上げを行い、関東大会の出場者を8名以内（標準記録突破者）とする。

ウ 飛込は各都県主催団体の推薦を経て各都県高体連水泳専門部の締切に間に合うように申し込む。

エ 水球は各都県主催団体の承認を経て下記チーム数だけ申し込む。（参加チーム数を超える都県は予選会を行い、上位より参加チームを決定する）

埼玉県	(4)チーム	千葉県	(3)チーム	東京都	(4)チーム	茨城県	(2)チーム
栃木県	(1)チーム	神奈川県	(3)チーム	山梨県	(1)チーム	群馬県	(2)チーム

(合計20チーム)

オ 同一時期開催の競技会においては、本部の規約で重複エントリーは禁止されている。

8 引率・監督について

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規程が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。水球コーチは2名までの登録とする。

9 参加制限

- (1) 競泳は1校1種目3名以内、1名2種目以内（但し、リレー種目を除く）。
- (2) フリーリレーは参加資格を得た4名と補員を2名、メドレーリレーは参加資格を得た4名と補員を4名申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレー種目には出場できない。但し、個人種目で関東大会に出場しているものは、フリーリレー並びにメドレーリレーに出場することができる。
なお、その全員が都県予選会に参加していることを条件とする。
(参加資格を得た4名とは、決勝で関東大会参加標準記録を切り8位以内に入ったチーム並びに予選で全国大会標準記録を切ったチーム。但し、決勝での記録とメンバーを優先する)
- (3) 飛込は1校1種目3名以内、1名2種目以内とする。
- (4) 水球は1チーム監督1名、選手14名以内とする。

10 参加申込

(1) 申込データ

- 様式1-1 「参加種目別一覧表及び学校長認知書(男女別、競技種目別)」参加校作成
 - 様式1-2 「参加申込書 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」各都県水泳専門部作成
 - 様式2-1 「飛込プログラム掲載用ファイル」飛込参加校作成後、開催都県に提出
 - 様式2-2 「水球プログラム掲載用ファイル」水球参加校作成後、開催都県に提出
- 「エントリーデータ」各都県専門部情報担当作成後、開催都県専門部情報担当へ提出

(2) 申込方法

申込みについては「大会参加申込書提出マニュアル」を必ず確認し、手順に沿って提出する。

※マニュアルは関東高体連ホームページ「お知らせ」よりダウンロードすること。

出場校は関東高体連ホームページの「関東大会出場校はこちら」から、実施要項・様式1-1「参加種目別一覧表及び学校長認知書(男女別、競技種目別)」(以下「学校長認知書」)をダウンロードし、**6月24日(水)**までに所定の提出フォームにより提出すること。

提出は、様式1については**委員長経由型**から、様式2は**開催都県専門部**に提出すること。

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの(原本は各校で保管する)

(ア) 様式1-1「参加種目別一覧表及び学校長認知書」

「学校長認知書」を校長印・顧問・監督印を押印したデータ(PDF)化されたものを**委員長経由型**から提出する。

(イ) 飛込参加校

- ・Web-SWMSYSへログイン、関東大会へエントリー入力を行う。
- ・様式2-1「飛込プログラム掲載事項ファイル」

「出場選手名」「所属校名」「出場種目」を記載し、「顔写真」データを指定枠の大きさにファイル内に添付する。

提出については、**開催都県専門部**に提出をすること。

(ウ) 水球参加校

様式2-2「水球プログラム掲載用ファイル」

- ・プログラム用、システム用それぞれに必要な事項を入力する。
- ・プログラム用写真データ(.JPG形式)を作成する。

提出については、**開催都県専門部**に提出をすること。

イ 各都県水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

(ア) 参加校から提出された様式1-1「学校長認知書」内をダウンロード後確認し、**都県事務局に申込書ZIP**から提出する。

(イ) 専門部HP「役員専用」内にある様式1-2「参加校別選手数一覧及び参加料納入書」をダウンロードしデータを作成後、**都県事務局に申込書ZIP**に提出する。(原本は各都県専門部で保管する)なお、参加料振込証明書(各金融機関の振込金受取書又はATM利用明細票等)をコピーしたものをPDF化したものを**開催都県専門部に参加申込書以外の書類提出**から提出する。

(ウ) 「エントリーデータ」作成

a 予選会のバックアップファイル

b 関東大会申込用に神奈川県と親子設定したWeb-SWMSYSで再エントリーしたWeb-SWMSYSのデータ。(できれば「リレーエントリー_V2.1.xlsm」によって、リレー種目補員データを入力してください。)

c bの集計時にWeb-SWMSYSよりダウンロードできる「所属団体一覧表」、ファイル名は「danta i.txt」としてダウンロードされるファイル。

※学校名は正式名称で入力すること。

※各都県水泳専門部で「エントリーデータ」を作成し、神奈川県の情報担当にメール添付して提出すること。

※この他、提出する資料については、各都県専門部委員長の指示にしたがって、提出すること。

送 付 先	申込書類等	作 成 者	
		参加校	専門部
様式 1 (大会参加申込書) の提出はこちらから 委員長経由型 ↓ 各都県専門部委員長 ↓ 都県事務局に申込書 ZIP ↓ 開催都県専門部	様式1-1 参加種目別一覧表及び学校長認知書 (男・女別、競技種目別) 学校名は正式名称で入力すること	○	
	様式1-2 参加申込書参加校別選手数一覧表及び参加 料納入書 ※振込通知書の写しを添付すること 開催都県専門部に参加申込書以外の書類提出 から提出。		
様式 2 の提出はこちらから ↓ 開催都県専門部	様式 2-1 飛込プログラム記載事項ファイル ※ <u>参加校はWeb-SWMSYSへログインし、関東大会へ エントリー入力すること。</u> ※ プログラム記載事項ファイルは、「出場選手名」 「所属校名」「出場種目」を記載し、「顔写真」データを指 定枠の大きさにファイル内に添付のこと。	○	
	様式2-2 水球プログラム掲載用データ ※プログラム用、システム用それぞれに必要な事項を 入力 ・プログラム用写真データ (.JPG形式)		○
情報担当 各都県専門部情報担当者 ↓ 開催都県専門部情報担当者 送付先 神奈川県立藤沢西高等学校 石渡 哲弥 E-Mailアドレス <u>ishiwata-tetsuya@pen-</u> <u>kanagawa.ed.jp</u>	エントリーデータ ② 予選会のリザルトm d bファイル ② 関東大会申込用に開催県と親子設定したWeb-SW MSYSで再エントリーしたWeb-SWMSYSのデータ。 <u>(できれば「リレーエントリー2.0xls」</u> <u>によって、リレー種目補員データを</u> <u>入力してください。)</u> ③ ②集計時にWeb-SWMSYSよりダウンロードできる 「所属団体一覧表」、ファイル名は「dantai.csv」 としてダウンロードされるファイル。 ※学校名は正式名称で入力すること。		○

申込問合せ先

競泳担当

神奈川県立神奈川工業高等学校定時制
 金子 太
 E-Mail アドレス
f-kaneko@pen-kanagawa.ed.jp

情報担当

神奈川県立藤沢西高等学校
 石渡 哲弥
 E-Mail アドレス
ishiwata-tetsuya@pen-kanagawa.ed.jp

飛込担当

湘南学園高等学校
 川口 薫
 E-Mailアドレス
kaoru.kawaguchi@shogak.ed.jp

水球担当

白鵬女子高等学校
 柳瀬 彰良
 E-Mailアドレス
T19035@edu.hakuhojoshi-h.ed.jp

(3) 申込締切 (各都県専門部から開催都県への提出期限)

競泳、飛込、水球ともに令和8年 6月26日(金) 必着(データ)

11 参加料・施設使用料

[競泳・飛込]	1名につき	<u>3,000円</u>
[水球]	1チーム	<u>30,000円</u>
[施設使用料]	1名につき	<u>2,500円</u>

※ 主管団体は、一括して下記振込先に送金すること。

横浜銀行 横浜駅前支店(店番号383) 口座番号 6723597 神奈川県高等学校体育連盟 会長 小松 誉 (コマツ ヤスシ)
--

※参加料・施設使用料についての連絡先

〒221-0812 神奈川県横浜市神奈川区平川町19-1
神奈川県立神奈川工業高等学校定時制 金子 太

12 表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。表彰は各競技会場で行う。

(1) 競泳

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ リレー種目優勝チームにはレプリカを贈る。

ウ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

エ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛込

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水球

ア 第4位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加は第4位までとする。

イ 優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

13 水球組合せ抽選会

令和8年6月27日(土)14時00分から、「白鵬女子高等学校会議室」において公開抽選を行う。

14 宿泊

宿泊斡旋を受けずに、各校で宿泊の予約を取ることは禁止する。その他詳細は別紙大会宿泊要項による。

15 監督者会議

[競泳]	令和8年7月17日(金)16時00分	会場: 横浜国際プール メインプール観覧席
[飛込]	令和8年7月17日(金)16時00分	会場: 横浜国際プール メインプール観覧席
[水球]	令和8年7月17日(金)16時00分	会場: トッケイシティ平塚総合体育館温水プール会議室

16 事務局

- 競泳の事務局 〒221-0812 横浜市神奈川区平川町19-1
神奈川県立神奈川工業高等学校定時制 金子 太 (かねこ ふとし)
- 飛込の事務局 〒251-8505 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32
湘南学園高等学校 川口 薫 (かわぐち かおる)
- 水球の事務局 〒230-0074 横浜市鶴見区北寺尾4-10-13
白鵬女子高等学校 玉川 匡彦 (たまがわ ただひこ)

17 全国大会への参加資格

各地域大会における以下の成績の者またはチームは、各都道府県高等学校体育連盟及び加盟団体の推薦を得て全国大会に出場することができる。

(1) 競 泳 ※地域大会に申し込みをした者に限る。

ア 地域大会において、各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選及び決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。
なお、同タイムも含む。(リレー競技の第1泳者及び1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

〈ア、イの確認事項〉

注1 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、地域大会において、予選・決勝で出場資格を得たメンバーの4名を含む5名を申し込むことができる。その全員が地域大会に参加していることを条件とする。但し、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち、速いタイムとする。
但し、アに該当し予選・決勝とも標準記録を突破することなく出場資格を獲得した場合は、決勝での記録とする。

注5 地域大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった都府県は各都府県大会の記録を採用する。

注6 地域大会及び都府県大会ともに開催できなかった場合は、令和7(2025)年4月1日以降令和8(2026)年7月22日までの長水路公式記録を採用し、出場を認める。(但し、個人種目のみとし、リレー種目は除く。)

注7 決勝競技進出者を決定する為、スイムオフをおこなった場合その記録は公式記録として認められる。

ウ 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は、出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。

※ 推薦は、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目で、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を大会出場者として、全国大会開催都府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウ、エの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。また、リレー種目において、国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合、補員を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名。3名の場合は2名の増員を可能とする。但し、4名全員が辞退する場合は、予選競技参加者が不在のため補員の増員は行わない。但し、ウ、オについてその理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は下記申込先へ提出すること。なお、届出者は、当該校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

上記に関する出場措置は、次のように行う。

- 1 個人種目について
 - (1) 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで + 派遣選手とする。
 - (2) 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。
※各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中を含めなければならない。
- 2 リレー種目について
 - (1) 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する(各個人の合計記録は認めない。)
 - (2) チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 競泳の標準記録 (令和8年度資料)

*印 改訂

		関東大会		全国大会	
		男子	女子	男子	女子
自由形	50m	25.99	28.89	24.09	* 26.99
	100m	56.39	1:01.79	* 52.19	58.59
	200m	2:05.59	2:14.49	1:53.94	2:06.81
	400m	4:27.19	4:49.19	4:03.27	4:26.41
	800m	-----	10:09.29	-----	9:11.13
	1500m	17:32.69	-----	16:14.25	-----
背泳ぎ	100m	1:03.99	1:11.19	58.64	1:05.08
	200m	2:22.29	2:33.39	2:07.94	* 2:19.96
平泳ぎ	100m	1:11.69	1:19.79	* 1:04.28	1:12.84
	200m	2:38.39	2:54.89	* 2:18.43	2:35.71
バタフライ	100m	1:01.69	1:08.49	* 56.00	1:02.68
	200m	2:21.29	2:36.29	2:04.05	* 2:17.66
個人メドレー	200m	2:21.59	2:32.59	* 2:06.94	2:22.05
	400m	5:11.49	5:39.29	* 4:32.98	5:02.11
リレー	4×100m	3:58.49	4:24.19	3:35.47	4:02.26
	4×200m	8:29.29	9:54.59	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100m	4:27.79	4:56.09	* 3:56.47	4:26.16

(2) 飛 込

- ア 地域大会において、各種目の第1位の者。
- イ 標準点数を突破した者(同点可)。
- ウ 標準点数

種目/性別	男子	女子
飛板飛込(3m)	10演技 293.00	9演技 256.00
高飛込	9演技 259.00	8演技 231.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。但し、その理由書（特別措置申請書）を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は下記申込先へ提出すること。なお、届出者は、当該校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(3) 水 球

ア 地域大会の成績によって次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北	：上位 2 位まで	関 東	：上位 4 位まで	北信越	：上位 2 位まで
東 海	：上位 2 位まで	近 畿	：上位 3 位まで	中 国	：上位 2 位まで
四 国	：上位 1 位まで	九 州	：上位 3 位まで		

イ 上記のチームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として 1 チームを加えることができる。

注 1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

注 2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠 + 1 チームとする。

ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

エ 主催都道府県のチームが不出場の場合、並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部と公益財団法人日本水泳連盟において協議し、全国大会は 20 チーム参加とする。

オ 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームに不利益が被らないように試合条件を変更して出場権を決定することができる。試合実施の可否については各地域大会主管実行委員会において判断する。

18 練習会場・日程

[競泳]	令和 8 年 7 月 17 日 (金)	横浜国際プール	9 時 30 分～17 時 30 分
[飛込]	令和 8 年 7 月 17 日 (金)	横浜国際プール	9 時 30 分～16 時 00 分
[水球]	令和 8 年 7 月 17 日 (金)	トッケイキュリティ平塚総合体育館温水プール	11 時 00 分～16 時 00 分

19 会場開・閉門時間

(1) 会場開門時間

[競泳]	令和 8 年 7 月 18 日 (土) ～20 日 (月)	7 時 50 分
[飛込]	令和 8 年 7 月 18 日 (土) ～19 日 (日)	7 時 50 分
[水球]	令和 8 年 7 月 18 日 (土) ～20 日 (月)	8 時 30 分

(2) 会場閉門時間

各競技終了後 1 時間を原則とする。

20 連絡事項

- (1) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証又はそのコピーを持参する。
- (2) 開会式への出場選手は各都県より 5 名とし、各都県の委員長が代表して出席する。また、閉会式は各都県の委員長が代表して出席する。
- (3) 大会を中止した場合、参加料は必要経費を差し引いた額を返金する。

21 会場使用についての注意事項

【各会場共通】

- (1) 貴重品の管理は各校で行う。また、観覧席などでは私物の管理を徹底する。
- (2) 更衣室ロッカーの使用は不可となる。更衣室に荷物などは絶対に放置しない。
- (3) 各会場受付にて配布するADカードは、必ず首からさげる。ADカードのない者は、一切入館できない。
- (4) 会場内でビデオ・カメラを撮影する場合は、通行の妨げにならない場所で使用する。
- (5) 各会場（観客席・更衣室・トイレ・選手控所 等）を利用するときは、整理整頓に努める。また、ゴミは各自で持ち帰る。
- (6) 土足不可の場所があるため、靴を入れるための袋を持参すること。

【競泳・飛込会場】

- (1) 選手および監督・コーチ・チームスタッフおよびトレーナーの入場は、3階メインアリーナ観覧席入口と2階サブプール側正面エントランス入口の2カ所とする。（1階玄関からの利用不可）
- (2) 指定された場所以外での場所取りは禁止とする。
- (3) 館内の移動は内履き（サンダル可、素足不可）とする。入場後にスタンド席にて履き替えを行う。3階観覧席から1階更衣室までの移動は室内履きとし、水着での移動は禁止する。
- (4) 更衣室内での履き物は禁止とする。
- (5) 1階エントランスホールでの食事・ミーティング・ストレッチは禁止とする。
- (6) 選手のエレベータの使用は禁止する。
- (7) プライベートテントの使用は禁止とする。
- (8) 選手控所（観覧席を含む）は各都県に割り振るので、互いに融通して使用すること。
- (9) 会場までの移動は公共交通機関を利用すること。

【水球会場】

- (1) 部旗・横断幕は当該チームの試合中にのみ指定された場所に掲示することを認める。
- (2) 会場までの移動は公共交通機関を利用すること。
- (3) 選手控所はスタンドとする。

※詳細については、ホームページ、2次要項、監督者会議資料で連絡する

関東高等学校体育大会における個人情報
及び肖像権に関わる取り扱いについて

関東高等学校体育連盟

関東高等学校体育連盟は、大会参加申込書を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

- 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い
 - (1) 大会プログラムに掲載されます。
 - (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
 - (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- 2 競技結果（記録）等の取り扱い
 - (1) 開催県各種目専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
 - (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
 - (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会本部が作成する大会報告書（以下「報告書」という。）に掲載されます。
 - (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがあります。
- 3 肖像権に関する取り扱い
 - (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
 - (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
 - (3) このほか、関東高等学校体育連盟の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。
- 4 開催県各種目専門部としての対応について
 - (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
 - (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
 - (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、関東高等学校体育連盟事務局または大会を開催する各都県高等学校体育連盟までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先

関東高等学校体育連盟事務局（群馬）	027-224-5046
山梨県高等学校体育連盟	055-287-8862
埼玉県高等学校体育連盟	048-822-6792
神奈川県高等学校体育連盟	045-311-8817
千葉県高等学校体育連盟	043-252-1691
茨城県高等学校体育連盟	029-300-5012
東京都高等学校体育連盟	03-5320-7470
栃木県高等学校体育連盟	028-612-5290